

朝ごはん



- 栄養教諭が中心となり、教員と家庭・地域が連携して、地域ボランティアの支援を得て食育を進めている。毎日朝食を食べる児童は全体の95%となっている。
- 4月、児童に朝ごはんに関するアンケートを実施。課題を指導に活かし、「野菜のおかず」をテーマに指導。
- 「パワーアップカード」を活用し食生活を含む生活習慣を児童自身が、毎月1回振り返る取組みを担任と連携し進めている。

- 食に関わる授業で教員と連携して、授業を展開。6年生では、児童が朝食レシピ集冊子を作成した。4年生では、休日に朝ごはんをつくることを宿題とした。
- 児童対象に「キッズクッキングすくーる」、地域と連携して「ホリデイクッキング」「六中校区クッキング」を実施。食への興味・関心を高める取組みも進めている。

朝のあいさつ



- 毎日7:45~8:20頃、校門で実施。
- 教員、警備員で校門に立ち、地域のボランティア3名が集団登校に付き添い、登校。PTAでも各地区で「全体保護者パトロール」を実施。
- 1年、4年では「あいさつカード」を活用し、すすんであいさつする態度を養う取組みを実施。
- 地域の方に見守られての登校は、児童や保護者に安心感を与えている。
- 児童とのあいさつによる繋がりは、支援するボランティアのやりがいに通じている。

朝の読書



- 10年ほど前から、水曜日8:30~8:45に、各教室で実施。
- 児童は各自選んだ本を自分の席で読む。低学年などでは、担任が読み聞かせをすることもある。
- 一斉に静かに本に向かう時間を持つことで、児童に落ち着きと授業への集中が見られる。
- 読書習慣の少ない児童にとっても、本に親しめる場となっている。